

鉄道ピクトリアル

2017年12月号増刊 Vol.67 No.12 通巻No.940

<特集> 阪神電気鉄道

■表紙 阪神の新時代を担う1000系と5700系……………焼田 健

尼崎車庫 2017-10-6
EOS5Ds R TS-E24mm F3.5L II 絞り f11 タイム1/20 ISO100

■グラフ

阪神電車で行こう (1~7・169~171ページ)
……………森本裕之・戸塚光弘・松本延之・早川昭文・山中 茂ほか
阪神線を走る他社車両 (8ページ)

……………金子 聡・松葉 晃・三宅信一ほか
阪神電車の行くところ 関西圏随一の直通運転 (172~173ページ)
……………井亀宏志・和田京太・山口 徹ほか
70's想い出の阪神電車 (174~175ページ)
……………小林 武・米谷 実・山岸庸次郎・篠原 丞ほか
坂戸直輝コレクション 昭和30年代前半の阪神電車沿線案内 (176ページ)
……………所蔵・解説: 坂戸直和

*

絵葉書に見る「待たずに乗れる阪神電車」のむかし ……白土 貞夫… 73
阪神なんば線の旧景 伝法線—西大阪線の頃……………構成: 編集部… 78
“金魚鉢”の往くところ—大きな窓から眺めた国道電車の車窓風景—
……………福田 静二… 80
単行時代の武庫川線……………構成: 編集部… 84
阪神の小型車 戦後の活躍……………構成: 編集部… 86
阪神の初期高性能車……………構成: 編集部…155
他社へ行った 阪神の車両……………構成: 編集部…162
阪神電車 運行標識板の魅力……………構成: 清水祥史…166
併用軌道線 思い出の風景……………構成: 編集部…177

■本 文

今月の話題: 阪神電気鉄道……………編 集 部… 9
総説: 阪神電気鉄道……………阪神電気鉄道(株)経営企画室 (広報担当)… 10
対談: 阪神電気鉄道の鉄道事業を語る……………岡田 信・今城光英… 20
営業設備とサービス……………米光 茂弥… 29
駅管区、列車所のあらし……………上島 慎平… 33
車両総説……………小松 克祥… 37
車両検修体制の概要……………谷山 彰紀… 44
線路と保線……………羽根田正則… 51
電力設備の概要……………下木原 浩… 55
立体交差事業、駅改良工事の実績と今後の改良工事について

……………小原 和浩… 59
阪神なんば線の構想から完成、そして今後……………浅野 陽一… 67
輸送と運転 近年の動向……………大月貞明・井野 誠… 89
信号保安・通信設備の概要……………竹山慎太郎… 99
線路配線、運転設備から見た阪神沿線の興味……………湯川 徹二…105
阪神電鉄とともに 杉浦克典氏に聞く阪神の運転あれこれ

……………構成: 今津直久…122
阪神特急ものがたり……………藤井 信夫…129
阪神の歴史を飾った車両たち……………河津 則彦…136
琴電に現存する阪神小型車の足回り……………真鍋 裕司…146
阪神3011形とジェットカーの時代……………川島 令三…148
阪神電気鉄道の貨物輸送……………澤内 一晃…178
回想 昭和後期の阪神電車……………吉里 浩一…183
阪神電鉄 ホームにおける広告位置のバラエティ……………大沼 一英…194
阪神車両—音と色—……………中山 嘉彦…201

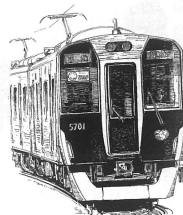
阪神電気鉄道車両プロフィール&データファイル2017
……………木下 和弘…205
〔現有車両諸元表・履歴表・編成表……………283〕

後部車から……………294

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット: 松本一雄

阪神電気鉄道

阪神電気鉄道は大阪と神戸の両都市間を結ぶ大手民鉄である。路線は梅田—神戸三宮から元町に至る本線32.1km, 元町—西代間の神戸高速線5.0km, 尼崎—大阪難波間10.1kmの阪神なんば線, そして武庫川線1.7km, 計48.9km(第2種鉄道事業区間を含む)であり, 大手民鉄の中において路線規模は大きくはないが, プロ野球球団・阪神タイガースをグループに有することもあり, 阪神電鉄の知名度は全国的にきわめて高いと言える。鉄道事業は, 1905(明治38)年4月に大阪・神戸の都市間高速輸送を目指して一気に開業しており, 110年を越える長い歴史を持ち, その間運輸・運転, 車両をはじめ鉄道史を飾るさまざまな価値の高い事業を展開してきた。開業から今まで一貫して阪神電気鉄道の社名であり, 途中に改称がないのも特徴である。

1995(平成7)年の阪神・淡路大震災では大きな被害を受け, 輸送人員も減少したが, それを乗り越えて近年の阪神電鉄をめぐる話題は多彩である。もともと熱心に推進していた路線の高架化は, 現在では立体化率90%を達成しており, 引き続き進められている。2006(平成18)年には阪急ホールディングスグループと経営統合したことも大きな出来事であり, 特異な事業形態で知られていた神戸高速鉄道は子会社となり阪神主体の運営に移行している。さらに近年の最も大きな話題は, 長年の悲願であった2009(平成21)年の阪神なんば線開業であろう。これにより関西大手民鉄では唯一大阪のキタとミナミの双方にターミナルを展開することとなり, 大阪都心の鉄道ネットワークの充実が図られ, 利便性も大きく向上した。車両や設備の刷新も進められており, 阪神はここ10~20年ですっかり様変わりし, さらなる躍進への期待もいっそう高まっている状況である。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan